

## 2023 アートマイル国際協働学習プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 兵庫県立太子高等学校 ] 担当教諭名 [ 林 恵里子 ] ( 3年1・2組 67名 )

相手国・地域 [ クロアチア ]

海外学校名 [ Privatna sportska Ijezicna gimnazija Franjo Bucar ] 担当教諭名 [ Petra Zenic ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

アートマイルに関連した 実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
	英語	時事英語	45

### ■作品に込めた想いについて教えてください。

題 (テーマ)	Education For All
メッセージ (相手と想いを合わせて 世界に発信したいメッセージ)	Education is the most important thing and if we let everyone have good education, they will start to think about problems and think differently. We all are not the same but we need to have equal opportunities and be tolerant to each other. Our differences are beautiful and we need to respect all, help those who have less than us and stop looking at people differently if they are not the same as us. The world is not fair to everybody, some of us are not given good opportunities but we need to help those people and give them the same treatment. With good education, we can solve all problems.



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
・出来るだけ自分達の周りで起きている問題点を取り上げ、相手校との比較・検証を繰り返し行うことで、自分達のおかれている状況を把握し、良い点・悪い点が認識でき、今の自分達に何ができるか、これから自分達は何をしていくべきか考えることができ、行動にうつすことができた。	・人数が多く2クラスに分かれているため調整が難しかった。 ・年間を通じての授業の中に入れるには無理があった。(教師の負担が大きすぎる)

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手の国・地域や世界に対して意識はどう変わりましたか？

児童生徒の意識の変化	教師の意識の変化
なんとなく聞いたことがあるという程度の国の生徒と交流したことで毎回驚きと新しい発見があり、交流をしていくうちに学習意欲を掻き立てられ、自分達がおかれている状況や日本・地域の状況や問題点にしっかり目を向けることができ、自ら伝えていこうという意欲がみられた。	これまで沢山の国や地域と交流をしてきたが、初めてのクロアチアとの交流で非常に刺激になり、毎回のやりとりをととても楽しみにしていた。まだまだ知らないことが沢山あると実感でき、クロアチアの歴史や文化にも積極的に調べている生徒達をみて、人と関わることの大切さや重要性を改めて認識できた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科等
調べ学習 テーマ学習	6月 ～ 8月	・グループにわかれ、自己紹介、学校紹介、日本文化紹介の動画作成 ・SDG4・10について知識を深め、夏課題のフィールドワーク実施	まずは自分達のことをしっかりと相手に伝えることからスタート。自分達の当たり前は外に出ると当たり前ではないことに直面し、自分達の当たり前を伝える難しさを実感した。	時事英語
共有 相手と意見交換	9月 10月	夏課題で自分達の地域の企業にSDG10についてフィールドワークを行い、発表した。SDG4についてお互いの校則についてまとめ、違いの背景にある社会的事例を考えた。	夏課題のフィールドワークでは、多種多様な発表が行え、自分達ができることを考えて行動できた。また校則の違いについては非常に興味深い学習になりとても熱心に学習できた。	時事英語
融合 メッセージ作成	11月	SDG10についてもグループごとに調べ学習をして、模造紙にまとめ、発表をした。今まで学習したことを再考察し自分達の考えを相手校に送り、メッセージを考えた。	自分達で直接投稿をすることで、自分達が伝えたいことを何度も考察し、英語に訳していた。相手校の英語力の高さに圧倒されていたが、それが刺激となり良い影響を受けていた。	時事英語
創造 壁画制作	11月 12月	・Zoom会議 ・壁画図案の交換	人数が多いクラスだったが、壁画の案は上手くまとまり、全員が納得のいく案ができた。ただ描き始めるとなると人数が多すぎたため、1人が描ける場所が少なかった。	時事英語
評価 振り返り 自己評価	2月	作品をオンラインにて観賞	壁画制作中に授業が終了していたため、全員で写真撮影することも振り返りをすることもできなかった。	オンライン

■アートマイルでついた力について教えてください。

評価 (5:とてもついた 4:ついた 3:どちらともいえない 2:あまりつかなかった 1:つかなかった)

学習目標・つけたい力	評価	教師がそう感じた場面と理由
異文化を理解する力	5	今まで全く関わることのなかった国や人に対して、非常に興味を持ち、SNSやインターネットなどで歴史や文化、流行っているものなど自分達で調べ、知識を深めようとする姿勢がかなり見られた。
主体的に考え行動する力	4	SDGsという少し遠いところの場所で起きている問題なのかと当初は感じていた生徒も見受けられたが、校則や学校での身近な課題に焦点を当てると積極的に考え、自分達の意見を交換することができた。
批判的に思考する力 (客観的・論理的視点)	4	両国校則の違いを学習したとき、文化的・社会的背景も加えて学習することで、自国の問題点だけにとどまらず、他国の課題も深めて理解することができた。
多様な他者と対話・協働する力 (海外の相手と対話・協働)	5	一方的な意見の発信をすることとどまらず、相手の意図とするメッセージをくみ取り、その内容を深めそしてその内容に自分達の意見を入れることを繰り返し行ったことで、他者と対話・協働する力がついた。
想いを表現する力 (メッセージ作成・壁画制作)	4	人数が多いこともあり、全員の思いをまとめ、表現することが難しかった。リーダーを決め制作に取り掛かったが、やはり大人数では大変だった。